



浪切不動尊 (山武市)

〒297-0024 茂原市八千代 2-10  
千葉県教育庁東上総教育事務所  
TEL 0475-23-8125 FAX 0475-25-3143  
E-mail hkzs04@mz.pref.chiba.lg.jp  
第5号

## 「がん教育授業の実践研修会」

東金市立西中学校

令和3年2月5日(金)発行

がん教育は、「①がんについて正しく理解することができるようにする、②健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする」ことを目標としており、実施にあたっては、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深めるため、外部講師（医療従事者・がん経験者等）の活用が有効となります。そこで、県教育委員会では、がん教育において外部講師の活用を進めるとともに、学習指導案の参考となる中学校・高等学校向けの「『がん教育プログラム』モジュール活用例」（文部科学省の指導参考資料を活用したもの）を作成する等により、学校における「がん教育」の充実に努めています。今年度10月21日（水）に東金市立西中学校におきまして、「がん教育授業の実践研修会」が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参観者を制限しての開催となりました。「がんについて正しく理解し、どのように予防するとよいか考えよう。」というめあてのもと、担任と外部講師（東金市健康増進課職員）のチーム・ティーチングで文部科学省補助教材「『がん教育プログラム』モジュール1」を活用しながら授業が展開されました。生徒たちは、がんの理解やがん患者に対する正しい認識を深めたり、身近な人にごん検診を勧めるためにはどのような言葉掛けを行うのかを考えたりしました。授業後の研究協議会では、性教育の今後の在り方について活発な意見交換がなされました。



東金市立西中学校

## 「地域における食育指導推進事業」授業公開

大網白里市立増穂小学校 茂原市立鶴枝小学校

千葉県では、教育事務所ごとに、栄養教諭及び学校栄養職員による3～4名の食育推進委員と食育指導推進拠点校を指定し、地域の学校管理職や栄養教諭・学校栄養職員を対象とした授業公開や研究協議等を行う体制を整え、地域における指導実践力を高めるとともに、指導者の育成を図ることを目指しています。今年度は、大網白里市立増穂小学校と茂原市立鶴枝小学校が、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参観者を制限し、授業公開及び研究協議会を行いました。増穂小学校は、主に給食を作ってくださいの方々への感謝の気持ちを通して、望ましい食習慣を考え、実践させる活動を重ねてきました。11月12日（木）には、2年生の学級活動において「やさしいパワーのひみつをさがろう」を題材に授業公開を行いました。授業では、なぜ野菜を摂らなければならないのかを予想させ、体内での野菜の動きについて具体物を用いながら説明し、児童一人一人が今後の野菜の食べ方についてめあてを持つことができました。鶴枝小学校は、主に食材を5大栄養素や3つの食品群（赤・黄・緑）に分類する活動を通して、望ましい食習慣を考え、実践させる活動を重ねてきました。12月1日（火）に、3年生の学級活動において「食事と健康について知ろう」を題材に授業公開を行いました。授業では、それぞれの栄養素をバランス良く食べることが大切であることを理解させたうえで、毎日食べている給食は、栄養のバランスをよく考えて作られていることに気付かせ、児童一人一人が目標を設定しました。授業後の研究協議会では、両小学校共に児童への食育の指導方法について活発な意見交換がなされました。



大網白里市立増穂小学校



茂原市立鶴枝小学校

## 「令和2年度 命の大切さを考える防災教育公開事業」九十九里町立九十九里小学校

11月19日（木）九十九里町立九十九里小学校で、文部科学省委託事業・千葉県教育委員会指定「命の大切さを考える防災教育公開事業」が開催されました。九十九里小学校では、「ふるさとのおよさを知り、地域の実態に即した持続可能な防災教育の実践 ～主体的・対話的で深い学びを通して～」を研究主題として、『地震・津波からの避難』を中心に研究に取り組み、地域の実態に即した危機管理体制を構築するとともに、児童の防災意識を高める力を育ててきました。

公開当日まで、4～6学年が「総合的な学習の時間」の授業を展開しました。タイムライン、応急手当、防災キャンプ等を活動の柱とし、話し合い活動や体験活動を取り入れながら命の大切さについて真剣に考え、自助・共助・公助を学ぶ姿が見られました。また、1～3学年も、東日本大震災の被害を語り継ぐNPOの方のお話を聞き、地震・津波の怖さを知ることができました。

当日は、千葉科学大学副学長危機管理学部の藤本一雄教授から、「地震・津波に備えるべきこと ～99点を目指し、0点を回避する防災～」という演題で講話がありました。『危機管理』『自助・共助・公助』について、改めて考える機会となりました。



九十九里町立九十九里小学校

## 「令和2年度 特色ある道徳教育推進校における公開研究会」

千葉県では道徳教育の充実を図るため、幼（認定こども園）・小・中・高等学校・特別支援学校が連携した道徳教育の推進や県作成の道徳映像教材の活用を含めた授業研究を行い、その成果を発表し、事例の共有を図ることを目的に公開研究会を開催しています。今年度研究指定を受けたのは、東金市立城西幼稚園・勝浦市立勝浦小学校・睦沢町立睦沢中学校で各園・校の研究主題に基づき、校内授業研究会を重ね、10月・11月の公開研究会に向けて準備を進めてきました。

### 【研究主題の紹介】

- |            |   |
|------------|---|
| ○東金市立城西幼稚園 | 「道徳性の芽生え 心の動きを見つめて・・・」～ 人との関わりを通して～                             |
| ○勝浦市立勝浦小学校 | 「自他を大切に、よりよい生き方を主体的に考える児童の育成」<br>－ 児童と教師で共につくる道徳科の授業を通して －      |
| ○睦沢町立睦沢中学校 | 「考え、『議論する道徳』の実現を目指した授業づくり」<br>－ 話し合いを充実させ、多面的・多角的に考える授業実践を通して － |

しかし、本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「令和2年度 特色ある道徳教育推進校における研究事業」の実施内容が変更され、この事業における公開授業は残念ながら中止となりました。そこで、千葉県ではこの事業の変更に伴い、公開授業に代わり、指定校の実践事例をWeb上で公開することとしました。また、本年度は「心の教育推進キャンペーン」の年度であった関係から、「心豊かに 道徳の時間 実践事例集」を作成しました。各公立学校に冊子として配付する予定でしたが、代わりにCDを配付することとなりました。千葉県教育委員会HPとCDには、城西幼稚園・勝浦小学校・睦沢中学校の実践事例が掲載されます。大変参考になる実践事例ですので、各校のこれからの授業実践や校内研修等にぜひ活用してください。

小・中学校ともに学習指導要領に基づいた学習が行われています。各校においては児童生徒の実態を捉えて多様な指導方法を取り入れる等、さらに「考え、議論する道徳」への質的な深まりが図れるよう、研修を重ねていただきますようお願いいたします。

## 若手（2年目）教員の実践を紹介します

今年度は、残念ながら1年を通してコロナ禍にありました。しかし、その中であっても、先生方はそれぞれの学校や地域の実態に応じた工夫や努力を積み重ね、日々の実践に取り組まれていることと思います。

その一方で、特に若手の先生方はこの1年間、様々な思いや不安を抱えながらも目の前にいる子供たちのために実践に取り組んでいるのではないのでしょうか。

そこで、昨年度の経験や研修等を糧に、日々邁進し続ける2年目の先生の実践を紹介します。



### 「しなやかな心の強さを育てるために」

2年間の教員生活で、大切だと感じたことは児童に合わせた指導をすること、そして学校教育目標を意識することです。

私が初めて受け持った5年生の学級では、自分の気持ちを表現できない児童や登校することが難しい児童がいました。自分の気持ちを表現できない児童は、友達とケンカをしたり、泣いてどこかに逃げてしまったりすることが多々ありました。本人の思いを知るために、落ち着いているときに話を聞き、自分の気持ちを相手に伝える場を設けるなどして対応をしました。

登校を渋る児童に対しては、放課後の時間を使い、本人と話をしたり学習を進めたりしながら関わる機会を増やしました。本人の得意なことや苦手なこと、悩んでいることなどを知ることができました。学校に登校できるようにするための手立てとして、本人と仲の良い友達と関わる機会を作ったり、学校行事に参加できる手助けをしたりするなどし、段階的にアプローチしました。現在は5年の宿泊体験学習を機に、毎日登校することができ、学級の中で過ごしています。様々な先生方のアドバイスを実践したことが、本人にとっての良い刺激になったのだと感じます。

学校には様々な児童がいるからこそ、指導の仕方を工夫しながら対応することが大切です。そのためにも、日ごろから児童の話に耳を傾けたり学習を通して児童を理解したりすることがとても重要になります。様々な先生方の助言や研修で学んだことを実践することで、心が折れないで、苦手なことにも挑戦していける子供たちに育っていったと感じます。学校教育目標「しなやかな心の強さをもつ 鳴浜っ子の育成」の達成にも寄与できました。この経験を今後の教員生活につなげ、児童と向き合い、強い心をもった子供たちを育てていきたいと思えます。

山武市立鳴浜小学校 川満 竜弥